

STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	サ, ニ, ヒ, ホ, ユ, ヨ, ラ, リ, ル, レ, ロ, ワ, ヲ, ン, アア, アウ	質の高いサービス	➔	<ul style="list-style-type: none"> 公正な資金管理 適正・迅速な給付サービス 安心の医療・健診サービス 職員のスキル向上・人材育成 	
2	ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ, コ, ソ, タ, チ, ツ, テ, ト, ナ, ヌ, ネ, ノ, ハ, ヒ	効果的な保健事業	➔	<ul style="list-style-type: none"> 健康増進と疾病予防 疾病早期発見、早期治療 重症化予防 データヘルスの活用 	✓
3	シ, ス, セ, モ, ヤ, ユ, ヨ, ラ, リ	医療費適正化	➔	<ul style="list-style-type: none"> 不適席受診の防止 医療費適正化活動 	✓
4	ク, ケ, アイ	健康経営の支援	➔	<ul style="list-style-type: none"> 事業所産業保健活動の支援 事業所コラボ活動 	
5	へ	健保財政の健全化	➔	<ul style="list-style-type: none"> 適正な予算管理 徹底したコストマネジメント 老人医療拠出金の低減 	

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	<ul style="list-style-type: none"> 被保険者7万・被扶養者7万の単一健保である。 主体企業以外に63の事業所が全国にある。 前期高齢者は年々増え続けている 	➔	<ul style="list-style-type: none"> 適用別に施策を分け、目標設定する必要がある 各ステークホルダーに訴える必要がある

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	これまでの保健事業費は前年比-5%で予算化し、ベンチマークとの差異は56%であった。特定健診・保健指導・保健宣伝費・体育奨励費などベンチマークとの差異は大きい。	➔	医療費適正化の施策として費用対効果の高い事業を検討する